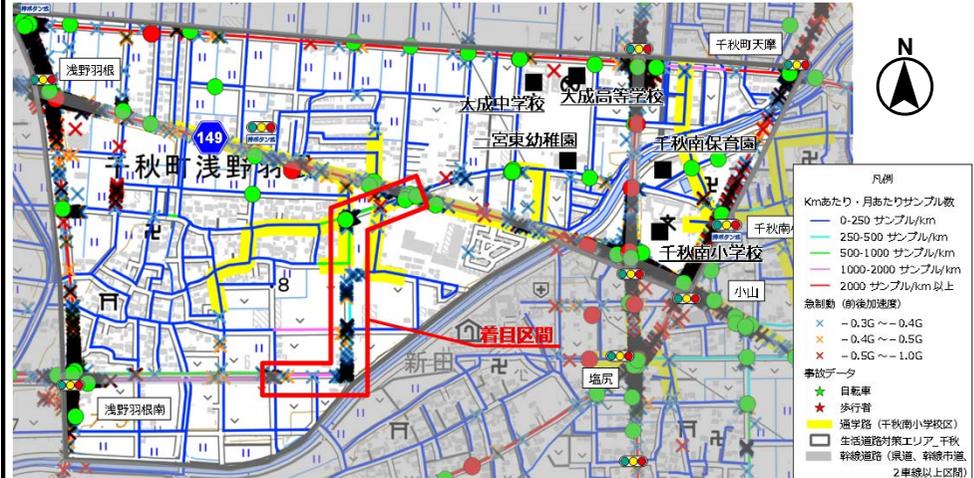


一宮市 千秋南小学校西部地区

事故対策の必要性

●千秋南小学校の通学路で抜け道利用がされており、急制動および事故が多く、走行速度が高い傾向であることに着目。



<ETC2.0プローブデータを活用した課題整理> 【出典】死傷事故データ 期間:H20.1~H30.12
 ETC2.0プローブデータ 期間:H30.4~H31.3

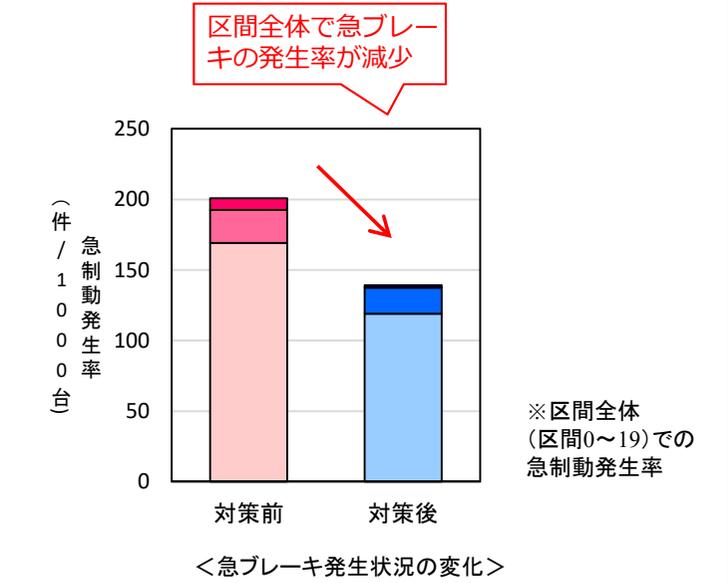
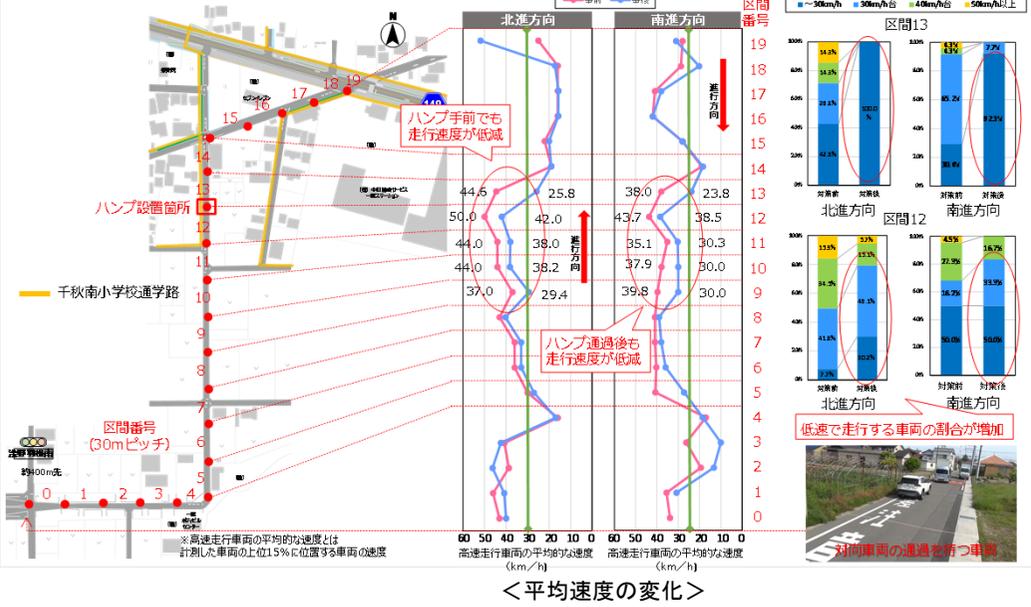
対策案・計画平面図

●南北の単路部にハンプ、北側の交差点流入部に路面標示を設置。(R3.3施工)



整備効果

- 対策前、対策後の状況変化をETC2.0プローブデータで検証。
- ハンプ設置後はハンプ設置区間での速度低下は顕著であり、区間を通じて高速(40km/h以上)で走行する車両の比率が低下した。
- 区間全体において対策後急ブレーキが減少した。



【出典】ETC2.0プローブデータ
 設置前:R02.09~R03.02
 設置後:R03.04~R03.05